

大規模災害時廃棄物対策北海道ブロック協議会 ワーキンググループの開催について【令和7年度 案内】

北海道地方環境事務所資源循環課

1. 概要

近年、全国で大規模な自然災害が相次いで発生しています。災害時に大量に発生する災害廃棄物の迅速かつ適正な処理は早期復興の要となります。

北海道では災害廃棄物への対応力を強化するため、平成26年に「大規模災害時廃棄物対策北海道連絡会」を設置し、その後「大規模災害時廃棄物対策北海道ブロック協議会」へ移行、大規模災害時の廃棄物対策に関する広域的な連携等の検討を目的としてブロック協議会を毎年開催してきました。令和2年度には、5年後のビジョンとロードマップを策定し、ロードマップに従って計画策定率の向上に資する事業や人材育成事業などを継続しています。

令和5年度にはエリア分科会（図1）を設置したほか、令和6年度から仮置場ワーキンググループ（WG）、連携強化WG、計画策定・改定WGの3つのWGを設置しており、今年度も参加希望された方々をメンバーとしてそれぞれの検討を行う予定です。

本年度のWGの開催概要を次頁に示しますので、参加をご検討下さいますようお願いいたします。

※昨年度のWGの開催状況については以下をご覧ください。

https://hokkaido.env.go.jp/recycle/post_140_00003.html



図1 エリア区分

2. 各WGについて

(1) 仮置場WG

対象者：市町村職員（各エリアから1～2名程度）

実施回数：全2回（各2時間程度）

実施時期：令和7年8月～令和7年12月頃

実施方式：リモート開催（Microsoft Teams）

内容（予定）：

仮置場設置の重要性、仮置場の種類と地域の実情に合わせた収集-仮置方法について理解を深めます。また、道外の仮置場候補地選定や能登半島地震における仮置場事例等を学びます。参加自治体で想定されている仮置場の基本情報整理や、候補地選定に係る課題抽出・解決方策の検討を行います。WGを通して、災害時の仮置場の速やかな設置や、片付けごみ等の円滑な回収を目指します。

(2) 連携強化WG

対象者：市町村、一部事務組合、広域連合、民間団体、振興局

（各エリアから1～2名程度）

実施回数：全2回（各2時間程度）

実施時期：令和7年8月～令和7年12月頃

実施方式：リモート開催（Microsoft Teams）

内容（予定）：

自治体間、自治体と民間事業者間の連携の重要性について理解を深めます。また、道外自治体、特に能登半島地震における連携状況などの事例について学びます。意見交換により災害時に想定される関係者との連携上の課題抽出・解決方策の検討を行います。WGを通して、災害廃棄物処理における関係者間の連携強化を目指します。

(3) 計画策定・改定WG

対象者：災害廃棄物処理計画を策定又は改定予定で支援を必要とする市町村
(10名程度)

実施回数：全4回(各回2時間程度)

実施時期：令和7年8月～令和7年12月頃

実施方式：リモート開催(Microsoft Teams)

内容(予定)：

災害廃棄物処理計画に必要な内容について理解を深めます。各回でテーマ(アンケートで意向確認)を設定し、テーマに沿ってワークシートや計算エクセル等の説明、参加自治体による計画策定又は改定を進め、作成における課題の抽出・解決策の検討を行います。また、希望する場合は個別課題の相談、北海道地方環境事務所の「市町村災害廃棄物処理計画策定ワークシート」(北海道版)等を用いた、骨子案作成のサポートを受けることができます。

3. ワーキンググループの参加申し込みについて

ワーキンググループの参加申し込みについては、本事業を委託しているアジア航測株式会社の代表メールに、7月〇日までにご連絡ください。

応募状況を踏まえて令和7年7月末までにメンバーを決定し、開催日等の調整を行います。※お問合せについても下記宛にお願いいたします。

■申込先

アジア航測(株) 代表アドレス：r7.hokkaido.saigai@ajiko.co.jp

メールタイトル：【参加ご希望のWG名】WGの参加申込

メール本文：以下についてご記載ください。

- ・参加者情報：組織名(〇〇市〇〇課)、役職、御氏名(フルネーム)
- ・参加を希望されるWGに関連して、自市町村で課題と考えている事項についてご教示いただけますと幸いです。

(皆様からいただいたご意見を踏まえて、第1回WGの意見交換を進行します)